

美祿市立病院広報

第67号

令和2年9月発行

〒759-2212

山口県美祿市大嶺町東分11313番地1

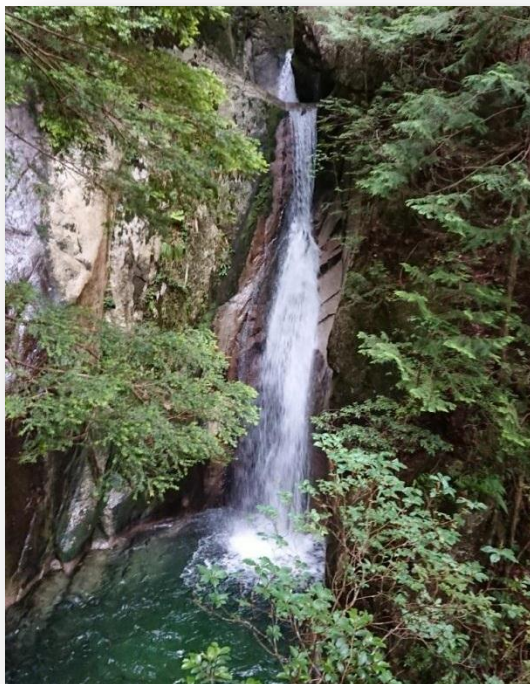
日本医療機能評価機構認定病院

美祿市立病院 発行人 松永 登喜雄

TEL 0837(52)1700 FAX 0837(52)1820

E-Mail byouin@city.mine.lg.jp

ホームページ <http://www.mine-city-hosp.jp/mineshiritsu/>



涼を求めて。
自然の中で心も体も
リフレッシュ！

新型コロナウイルス等感染症拡大予防のご協力のお願い

- 病院入口にて検温と以下の事項を確認しておりますのでご協力をお願いします。

症 状

発熱 頭痛 咽頭痛 咳 痰

鼻水 倦怠感 息苦しさ

味覚障害

* 味がしない

嗅覚障害

* においがしない

行 動

2週間以内に県外へ行っていませんか

2週間以内に県外にいた家族や
知人に会っていませんか

- 面会については、流行状況に応じて対応が変わりますので、**病院入口や院内掲示板をご確認ください。**
- 病院内では**マスクを着用**してください。待合では人と距離をとってお待ちください。

発熱や新型コロナウイルス感染を疑う症状がある場合は下記の専用相談ダイヤルにご相談ください。

山口県新型コロナウイルス感染症 専用相談ダイヤル **TEL:083-902-2510**

(毎日 24時間対応)

病院では医師をはじめ様々な職種のスタッフが一つのチームとなり、治療や診療を支えています。その職種の一つに「臨床工学技士」という職種があることをご存じでしょうか？最近では、ニュースで名前を聞かれた方も多いと思います。

病院では、数多くの医療機器が使用されております。特に、生命維持装置（人工呼吸器、人工腎臓など）を中心とした高度医療機器の管理や操作には、専門的な知識と技術が必要です。医師の指示の下でその業務を専門に行っているのが、「臨床工学技士」です。略してCE (Clinical Engineer) やME (Medical Engineer) と呼ばれています。現在、当院には2名の臨床工学技士が在籍し、医療機器が安心安全に使用できるように日夜業務にあたっています。

<当院の臨床工学技士の主な業務内容の紹介>

1. 血液浄化業務

当院には、美祢市で唯一の透析センターがあり、そこで使用する高度医療機器の操作や保守管理を行っています。

血液浄化法にはいろいろな治療法があります。特に「血液透析」は、体内に貯まった老廃物などを排泄または代謝する機能が働かなくなった場合に行う治療です。



2. 医療機器管理業務

院内で使用している様々な医療機器（除細動器、ポンプ、モニター、血圧計など）の安全を確保しています。定期点検など各種点検や修理などを行い、いつでも安心して使用できるように管理しています。

また、医療機器を使用する医療スタッフに研修などを行い、どのスタッフも正しく安全に医療機器が使えるようにサポートしています。

3. 呼吸療法業務

人工呼吸器の操作や保守管理をしています。

緊急時に備え、常に点検を行い、いつでもすぐに使用できるようにしています。また、人工呼吸器を使用しているときは、毎日使用中に点検を行い、正常に動作しているか確認を行っています。

人工呼吸器には、病院の中で使用するもの以外に在宅で使用されるものもあります。在宅用人工呼吸器も、自宅で安全に安心して使用してもらえるように指導や管理をし、サポートしています。

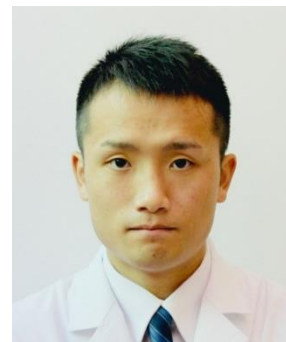


医療機器は、医学の進歩と共に多様化し、日々複雑化しています。その中で、現代医療に不可欠な医療機器を扱うスペシャリストとして、良質で安全な医療を提供できるように今後も取り組んでいきます。

地域医療研修を終えて

総合病院山口赤十字病院初期臨床研修医の潘 佳真と申します。この度は地域医療研修として5月、6月と2ヶ月間美祢市立病院で研修させていただきました。

私はもともと小野田の生まれで、隣接する美祢市は友人関係や観光で訪れることが度々あり、豊かな自然と趣深い工場風景のある魅力的な街と感じておりました。この度美祢市立病院からの受け入れがあることを知り研修先として選択し、実りある研修となるよう総合診療科下川先生と事前に打ち合わせを行い、「様々な診療の場、医療施設を経験し、各医療施設・職種の臨床判断の違いを知る」という目標のもと研修をスタートしました。



研修の内容はと言いますと、病院内では主に外科に所属し外来・病棟診療に加え救急業務をこなし、手術にも数多く参加しました。高齢化の著しい地域で診療するにあたり、患者さんの生活背景、価値観に配慮した治療目標、退院後の方針決定に迫られることが多く、今まで患者さんの病気しか診てこなかった自分に気づかされました。

訪問診療では、患者さんの病院での「顔」とはまた違ったありのままの姿が垣間見え、生活の中で診療するからこそ見えてくるニーズがあることを学びました。居住・社会環境に即した、5年先、10年先の将来を見据えて治療方針を決定することも大変勉強になりました。

多職種連携の理解のため参加した訪問看護では普段見ることのない、退院後の生活を支える看護師の方々の姿がありました。治療だけが医療ではなく、現在の状態を維持することの難しさもまた教えていただきました。

病院と診療所の違いを学ぶべく希望した診療所研修では野間クリニックと中元医院で研修をさせていただきました。野間クリニックでは東洋医学に触れ、野間先生から漢方薬、鍼灸の知識を存分に教えていただき、診療所医師として長年のキャリアから培われた数々の教訓をお話いただきました。中元医院では外来診療見学に加え、さらに視野を広げてほしいと産業医活動に同行させていただき、職場巡視、安全衛生委員会に参加。さらに、介護認定審査会にも参加し介護認定までの流れ、主治医意見書記載に関するポイントを教わりました。

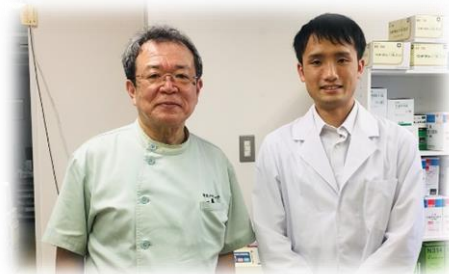
他、社会復帰促進センターでの診療や認知症初期集中支援チーム定例評価会議の参加など新しい、様々な経験をさせていただきました。

この2ヶ月は急性期だけでなく慢性期、回復期の医療に対する多角的なアプローチを勉強する良い機会となり、また様々な医療の現場を経験することで自分の視野を大きく広げることができました。当初の目標到達は十分にできたのではないかと感じております。今回培った経験を糧に医師として今後更なる研鑽を積んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、ご指導いただきました松永院長先生、総合診療科の下川先生、外科の桑原先生、田中先生、本間先生をはじめとした先生方、スタッフの方々、そして院外研修を快く受け入れて下さいました野間先生、中元先生、各関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

また一人前の医師としてお伺いできる日を楽しみにしております。

総合病院山口赤十字病院初期臨床研修医 潘 佳真



暑い時期は熱中症に注意を！

「3つのとる」を実践しましょう



距離をとる

- ・人と十分に距離をとる

マスクをとる

- ・屋外で人と2m以上（十分な距離）離れているとき

水分をとる

- ・のどが渴いていなくてもこまめに水分補給を



救急救命士就業前教育を終えて

この度、救急救命士就業前教育の為、美祢市立病院で1ヶ月実習を行いました。研修カリキュラムに沿って、外来・病棟回診・手術室で研修を進めていき、実際に院内での処置等を間近で見ることができ大変勉強になりました。また、救急救命士が行える特定行為（気管挿管や静脈路確保等）も見学や実際に処置させていただき、スキルアップも図ることが出来ました。普段は救急隊として病院前救護の活動を行っている中、異なる立場・環境で医療の現場を学べたことは、私にとって貴重な経験となり、今後の救急救命士としての救急活動に活かしていきたいと思えます。

最後に、短い期間ではありましたが、ご指導してくださいました先生や看護師をはじめ病院関係者の皆さま本当にありがとうございました。今後も様々な機会にお会いすることもあると思いますが、よろしくお願いたします。
文責 美祢市消防署 救急救命士 野村喜雄



看護部リレー随筆

外来 藤野紫代

日本は超高齢化社会を迎え、2019年には100歳以上の人口は7万人を突破しました。人生100年時代が現実のものになりつつあると言われ、今までの生き方や働き方の見直しも求められるようになりました。人生100年時代をよりよく生きる為に「学び直し」をする方も増えていると聞きます。

私自身、改めて学び直そうと思っていた事や、新しく始めようと考えていた事があったのですが、新型コロナウイルスの感染拡大の為、今年はその予定を保留する事にしました。新型コロナウイルスの影響によって、日常生活や行動が制限され、今までに経験した事のないストレスを感じている方も多くいらっしゃるのではないかと思います。新型コロナウイルスについてはまだまだ分からない事が多く様々な情報があふれていますが、過度に恐れる事なく、正しく恐れて賢く行動する事が大切だと言われています。

いつ収束するのか分からない不安な状況は続きますが、基本的な感染対策を守り、新しい生活様式を実践していきましょう。

新人看護師輸血研修

7月2日（木）、今年度採用された新人看護師を対象に、黒田臨床検査科長より「輸血の管理」の研修が行われました。研修では、輸血の基礎知識と管理について学び、実際に血液製剤（使用期限切れ）を使って手順を確認しながら実施し、確認方法やダブルチェック観察の重要性について学ぶことができました。

文責 看護師 阿座上礼子



医師の交替

<退職> 大変お世話になりました。

<採用> よろしくお願ひいたします。

脳神経外科 河野 亜希子 医師 (8月31日付)

脳神経外科 藤山 雄一 医師 (9月1日付)

整形外科 小笠 博義 医師 (9月30日付)

整形外科 油形 公則 医師 (10月1日付)

今月の料理 ツナともずくのめんつゆあえ



1人分の栄養量 75kcal 蛋白質 2.1g 塩分 0.6g

材料 (2人分)

もずく	100g
ツナ缶	1/2缶 (40g)
ミョウガ	1個
めんつゆ (2倍濃縮)	大さじ1 (15g)



作り方

- ① もずくは軽く水洗いをし、ぬめりをとる。(長く食べにくいようなら短めに切ってください。)
- ② ツナは油を切る。ミョウガは千切りにする。(ねぎ、生姜、わさび、いりごま、ゆずなどお好みの薬味を入れても良いです。)
- ③ ①、②の材料とめんつゆを混ぜて完成。

～栄養科より～

もずくのかわりにあかもくでも良いと思います。お好みの量の酢を加えればもずく酢になります。ツナ缶ではなく湯がいたささみやかにかまなども合います。ご飯にのせてどんぶりにしたり、そうめんや豆腐のトッピングにしたりもできます。また、オリーブオイルやゴマ油などお好みのオイルで味を変えて食べてもおいしいです。

編集後記

世界の室温効果ガスの約1/4(26%)が食品生産によるものです。その内24%、つまり約6%が食品廃棄によると推定されます。人間の基本的ニーズと考えると当然とも言えるのかもしれませんが…。 ちなみに全世界の航空機の排出する温室効果ガスは全体の1.9%です。(K. Y)



令和2年度 美祢市立病院診療日程表

令和2年9月1日

	月	火	水	木	金
初期診療	古賀 靖卓	/	/	/	/
総合診療	下川 純希				
(受付時間)	8:15 ~ 16:30				
(診察時間)	8:45 ~	9:00 ~			

内科	李 博文 (循環器系)	谷川 武人 (循環器系)	李 博文 (新患のみ) (循環器系)	李 博文 (循環器系)	谷川 武人 (循環器系)
	田部 勝也 (血液・内分泌系)		松本 怜子 (消化器系)		佐々木 嶺 (消化器系)
外科	本間 喜一	桑原 太一	田中 昭吉	田中 昭吉	本間 喜一
(受付時間)	8:15 ~ 11:30				
(診察時間)	8:45 ~				

脳神経外科	午前	藤山 雄一	松永 登喜雄	松永 登喜雄	松永 登喜雄 (脳ドック)	松永 登喜雄
	午後				古谷 泰浩 (第2・3・4週)	
(受付時間)	8:15 ~ 11:30			8:15 ~ 11:30 13:00 ~ 16:30		8:15 ~ 11:30
(診察時間)	10:00 ~	8:45 ~		8:45 ~ 12:00 14:30 ~ 17:00		8:45 ~

◆ もの忘れ外来 (要予約) 毎週月曜日 担当: 松永医師

泌尿器科	中村 公彦	/	/	森 純一	廣吉 俊弥
(受付時間)	8:15 ~ 11:30			8:15 ~ 11:30	
(診察時間)	9:00 ~			9:00 ~	

整形外科	松木 佑太	寒竹 司	山崎 和大	10月より 小笠医師から油形 医師に変わります	小笠 博義
(受付時間)	8:15 ~ 11:30	8:15 ~ 16:00	8:15 ~ 11:30		8:15 ~ 11:30
(診察時間)	9:00 ~	14:00 ~	9:00 ~		9:00 ~

耳鼻咽喉科	樽本 俊介	/	津田 潤子	/	山本 陽平
(受付時間)	8:15 ~ 15:00		8:15 ~ 15:00		8:15 ~ 15:00
(診察時間)	14:00 ~		14:00 ~		14:00 ~

眼科	播磨 希	/	/	白石 理江	/
(受付時間)	8:15 ~ 15:00			8:15 ~ 11:30	
(診察時間)	13:00 ~			9:00 ~	

小児科	午前	是永 優乃	市村 卓也	太田 直樹	長谷川 俊史	脇口 宏之
	午後			高橋 一雅	中村 圭李	深野 玲司
(受付時間)	8:15 ~ 11:30			8:15 ~ 11:30 13:00 ~ 16:30		
(診察時間)	9:00 ~			9:00 ~ 12:00 14:00 ~ 17:00		

◆ 予防接種及び乳児健診 (要予約)

午前: 月~金曜日 (10:30 ~ 11:00) 午後: 水・木・金曜日 (14:30 ~ 16:00)

皮膚科	/	川上 かおり	/	一宮 誠	/
(受付時間)		8:15 ~ 11:30		8:15 ~ 15:30	
(診察時間)		9:00 ~		14:30 ~	